



白河二中だより

NO. 29
2024. 11. 15
白河市立白河第二中学校
発行責任者 小野 聡

水くみで学校行けない

アフリカ大陸南西部に位置する国、「アンゴラ」という国を皆さんご存じかと思います。
12日(火)の福島民報新聞の17面の記事には、アンゴラの村に住むラウナさん(15歳)とナイメさん(14歳)の記事が掲載されていました。

飼っているヤギのために、1日おきに片道1時間半かけ、歩いて井戸まで水をくみに行っています。その量はそれぞれ20リットルのバケツ1杯分。2人は「水くみをした日は、学校には行けません。」と話します。

干ばつに襲われたこの地域に住む人は、水くみをすることで生活のための水を手に入れるしかありません。多くの子ども達はこれを手伝う必要があるため、勉強する大切な時間を奪われています。

(日本ユニセフ協会)



さらに、ネット上で情報を集めると、「世界の約10人に一人は安全な水が手に入りません」、「アフリカの人が水を手に入れるために1日に歩く平均的な距離は6Km」等の言葉を目にしました。

皆さんは、この記事を読んでどのようなことを考えるでしょうか。

自分の生活との違いに愕然とする方もいるでしょうし、遠い国のことであって、ぴんとこない方もいるかもしれません。中には、何か今すぐにできることはないか、とネット上で検索を開始する方もいるかもしれませんね。

感じ方や考え方はそれぞれですが、我が子と同年代の子ども達がこのような生活をしているという事実を忘れずに、子どもと向き合っただけたらと思います。

人間の幸せとは何か、考える機会となりました。

歯を大切に

11日(月)から今週1週間を「歯みがき強化週間」とし、昼の放送で昼食後の歯磨きの呼びかけがありました。普段から多くの子が熱心に取り組んでいます。これから長い付き合いとなる大切な歯を、しっかり守ってほしいと思います。

また、保健委員会によって、「手洗い、うがい」、そして、「教室の換気」を呼びかけるポスターも掲示されました。今年の冬も寒さに負けず、元気に過ごせるよう、ご家庭でも注意喚起をしていただければと思います。よろしくお願ひします。



読書週間

先日、図書委員長からお昼の放送で「読書週間にたくさんの本を読みましょう。」と呼びかけがありました。

図書室には各クラスのクリスマスツリーが飾られ、本を貸し出すごとにツリーの装飾が増えるように、図書委員作成のシールが貼られています。視覚的にも楽しい企画が進められています。

19日(火)の実力、期末テストに向けて、時間はなかなかとれないかもしれませんが、気分転換などで活用するよう、提案いただければと思います。

